2022年度 （2022年4月～2023年3月） 安全衛生管理計画書

元 請 確認欄	

基本方針

当社は、人命尊重の崇高なる理念に基づき、労働安全衛生に関する法令並びに自社の労働安全衛生管理規定を尊重し、全従業員が参画して、快適な職場環境のもと健康で安全な企業の確立を目指す。

行動方針

1、 災害防止の取り組みを経営の最重要課題として位置づける。
2、 三現主義（現場へ行って・現物を観て・現実を考える）を、普遍的な価値判断の基準として、総力を結集して労働災害の撲滅を図る。
3、 リスクアセスメントに基づき、労働安全衛生目標を設定し、安全衛生の継続的な改善に全従業員で取り組み、負傷・疾病の防止に努める。

安全衛生管理体制		役職名	氏名
	統括安全衛生管理者	代表取締役社長	米澤茂與
	雇用管理責任者	代表取締役社長	米澤茂與
	店社安全衛生管理者	安全管理室長	下保直冶
	安全管理者	取締役	今井健勝
	衛生管理者	業務担当	米澤祐彦
	産業医	若葉病院 理事長	岡田成
	工事担当責任者	工事部長	山田剛

2022年 4月 1日作成

会社名 今井重機建設株式会社 本社

重点施策	実施項目	目標	担当	年間スケジュール 4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	実施上の留意点	元請指導欄
① 重篤・重大災害ゼロ	安全衛生管理体制の確立、作業主任者による監視の強化	労働災害 ゼロ	経営者													安全衛生水準の向上、指揮命令系統の明確化	
	有資格者の適正配置（免許、技能講習、特別教育）法定点検の確実な実践		経営者、職長													作業員の適正配置、睡眠不足の危険把握	
	作業手順書の工種毎、作業毎の作成と手順書の周知徹底		職長													作業手順の確認	
	リスクアセスメントの実施とその低減措置、フエールセーフの積極活用・本質安全化		経営者、職長													危険作業でのダブルセイフティの実施	
	送り出し教育の徹底		経営者、職長													点呼の確実対応、乗りこみ前の安全教育	
	危険予知活動の充実、現地KYの実践、ヒヤリ・ハット事例の有効使用		職長、作業員													運行許可証の取得、的確な運行経路の指示	
② 輸送中・作業中の交通災害ゼロ	交通労働災害防止のためのガイドラインの推進、ドライブレコーダーの有効活用	交通災害 ゼロ	運行管理者													全員参画による安全風土造り、ゼロ災推進	
	国交省告示1366の指導及び監督の指針に基づく教育(H29年3月改正)		安全管理者													ﾄﾗｯｸは社会を支える重要な仕事の誇りを持つ	
	長時間労働是正への取組み、荷主企業への協力要請、交通事故削減の仕組み造り		職長、作業員													周囲の状況確認,危険の回避。使用前点検	
	トラック追突事故防止マニュアル ～追突事故撲滅キット～の活用		職長、作業員													守ろう「防衛運転」の心得10カ条実践	
③ クレーン等重機による労働災害ゼロ	指揮命令系統の明確化（作業開始前に、職長・安責者は、運転者・作業主任者	クレーン等重機災害ゼロ	ｸﾚｰﾝｵﾍﾟ・職長													作業手順の確認	
	作業指揮者・誘導員・合図者に危険のポイントを理解させて作業を開始する）															3-3-3運動実践、声の掛け合い	
	作業計画書の作成、作業開始前点検及び安全装置の動作確認		ｸﾚｰﾝｵﾍﾟ・職長													クレーンオペレーターの自己安全義務	
	積載型トラッククレーンの転倒防止		ｸﾚｰﾝｵﾍﾟ・職長													アウトリガー片側張出しによる転倒防止	
④ 墜落・転落災害ゼロ	開口部・作業床の端に手すり、中さん等の設置	墜落・転落災害ゼロ	職長、作業員													安全な足場の確保	
	墜落制止用器具 胴ベルト型・ハーネス型両方ともの新規格の使用。22,1,2より		職長、作業員													保護具着用・墜落制止用器具新規格使用確認	
	足場における作業の開始前点検の徹底		職長、作業員													欠陥のない作業足場・ﾀﾞﾌﾞﾙｾｲﾌﾃｨ完全装備	
	墜落災害の怖さを教え、不安全行動や無理な姿勢による作業をさせない		職長、作業員													安全措置実施義務	
⑤ 第三者災害ゼロ	地盤・架空線・近隣家屋・交通状況等、周辺状況の事前確認	100%実施	職長、作業員													周囲の状況を把握し危険を回避する。	
	トラックの荷崩れ防止確認(荷積込時・輸送時ﾁｪｯｸｼｰﾄの活用)															荷締めの再確認、指差呼称の実践	
	業務用社用車もアルコールチェックの義務化（運転前後）															記録を1年間保存する	
⑥ 労働安全衛生教育訓練の充実により、全関係者への周知徹底を目指す	計画的な階層別教育の実施 溶接ﾋｭｰﾑ：作業に合った防じんマスク使用	対象社員全員	安全管理者													マスクの着用、適時換気の徹底	
	現場関係法令の遵守、周知徹底指導 OJT教育（熟練者とのペアー作業）	対象社員全員	職長													技能、経験に応じた活用、エコドライブ推進	
	資格取得後、おおむね5年ごとの能力向上教育の実施（経過者の確認）	対象社員全員	安全管理者													職長、足場の組立て、ｸﾚｰﾝ他	
⑦ 快適職場形成の推進における重点実施事項	新型コロナウイルス等感染防止、熱中症対策実施 従業員に配慮した職場環境造り	100%実施	衛生管理者													持続可能な安全管理	
	過重労働防止対策、健康起因(狭心症・脳梗塞・糖尿病・SAS等)防止指導展開												○			生理的・心理的要因への適切対応	
	健康診断有所見者に医師の意見に基づく適正配置、ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ対策の実践															定期健康診断、ｽﾄﾚｽﾁｪｯｸの実施状況確認	
年間行事	春の全国交通安全運動		運行管理者	○												4/6～4/15	
	安全大会（元請各社への参加含む）		安全管理者				○						○				
	全国労働安全週間（トップのパトロール）	全現場パトロール	経営者			↔	○									7/1～7/7 準備月間6月	
	夏の交通安全県民運動						○									7/21～7/30	
	全国労働衛生週間（トップのパトロール）	全現場パトロール	経営者						↔	○						10/1～10/7 準備月間9月	
	秋の全国交通安全運動		運行管理者						○							9/21～9/30	
	年末年始・年度末災害防止強調月間		安全管理者									↔			↔	12/1～1/31、3/1～3/31	
	年末の交通安全県民運動											○				12/11～12/20	
	現場災害防止協議会（元請各社への参加）	各現場月1回	経営者・安全管理者													月1回現場の自主パトロールの実施	
	安全衛生推進委員会（川田工業㈱富山工場）	毎月最終木曜日	経営者・安全管理者													月毎の自主活動、5S活動の明示	